

ホテル客室の寒さを防ぎ、快適空間で“おもてなし”
ホテル専用高断熱樹脂窓「HOTEL MADO」発売
～ 伸長するホテル市場へ「HOTEL DOOR」とトータルに提案 ～

YKK AP株式会社（本社：東京都千代田区、社長：堀 秀充）は、インバウンドの増加により伸長するホテル市場向けに高断熱樹脂窓「HOTEL MADO（ホテル マド）」を2018年12月28日に発売し、快適な客室空間づくりに貢献します。



日本政府は「観光先進国」へ向けたさまざまな取組をすすめ、訪日外国人旅行者数を2020年度に4,000万人、2030年度に6,000万人へと増加させる目標を掲げており、不足する客室数を補うべく、ホテルの開業拡大も見込まれています。一方で、限られた客室空間のために窓の近くにベッドという配置も多く、特に熱の流出入が大きい窓の断熱性能は、ホテルの客室環境や快適性を大きく左右します。

このたび発売する「HOTEL MADO」は、断熱性・省エネ性を高め、快適性に優れたホテル専用商品として開発した高断熱樹脂窓です。樹脂フレームとLow-E複層ガラスの組合せにより、従来ホテルの窓で主流だったアルミフレーム+複層ガラス窓に比べ、断熱性能が約3倍（※1）に向上します。

それにより、窓辺の冷やされた空気がベッドや足元に広がる“コールドドラフト”を抑制し、宿泊客に暖かいくつろぎ空間を届けるとともに、ホテル事業者にとっては、空調効率アップによる冷暖房費用の削減も期待できます。

また、結露の発生を抑制するため、眺望や清潔感の確保、清掃性の向上にもつながります。



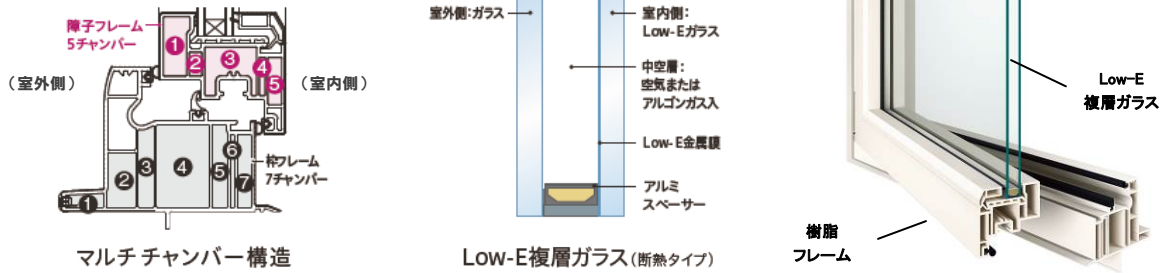
2018年8月には、ホテルの客室と廊下間の音漏れ対策機能をもった「HOTEL DOOR（ホテル ドア）」を発売しており、「HOTEL MADO」と合わせてトータルに提案することで、快適な客室空間の提供と、観光先進国の推進に寄与していきます。

※1：熱貫流率のアルミ窓 4.65W/(㎡・K)と「HOTEL MADO」1.70W/(㎡・K)の比較です。

【商品特長】

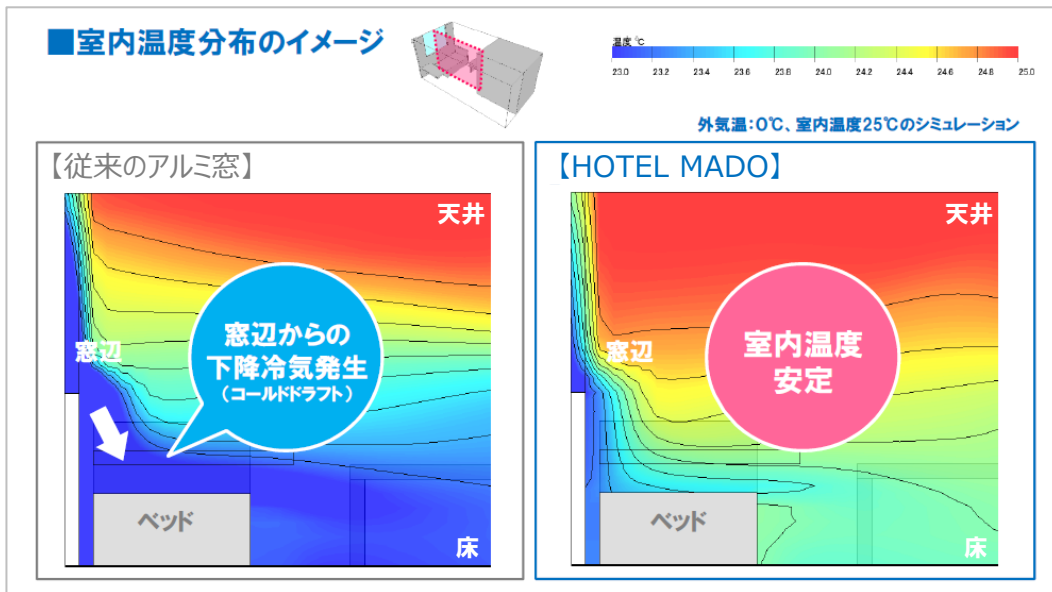
① 高い断熱性能で快適空間

熱伝導率が低く（アルミの約 1400 分の 1）断熱性に優れた樹脂素材と、中空層を増やして熱の伝わりを抑えるマルチチャンバー構造のフレームに、Low-E 複層ガラスを組合せて、熱貫流率 1.70W/(㎡・K)（※2）という国内メーカービル用規格窓の中では最上位クラスの高い断熱性能を実現。



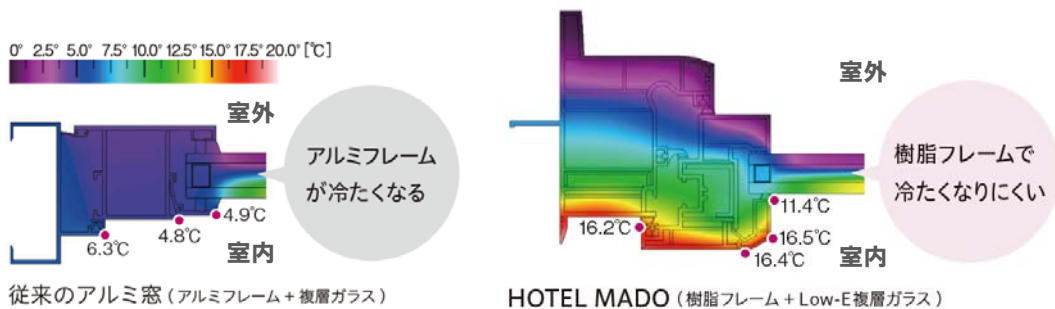
<コールドドラフト抑制>

窓辺の空気が冷やされてベッドや足元に降りてくる不快な“コールドドラフト”を抑制し、室内の温度差を抑えます。



<結露抑制>

樹脂フレームにより、外気温の影響による室内側のフレーム温度低減を抑えて、結露の発生も抑えます。



【算出条件】(JIS A 2102設定値) 室外側温度:0℃、室内側温度:20℃、湿度:50%、露点温度:9.3℃、
室外側表面熱伝達率:25[W/(㎡・K)]、室内側表面熱伝達率:7.69[W/(㎡・K)]

② 清掃者の安心・安全面に配慮

「HOTEL MADO」の窓種は、「内開き窓」、「内倒し・内開き窓」の2種類を設定。ホテル事業者が窓を清掃する際、全開時は障子が室内側に90度まで開く(※3)ため、室外側へ身を乗り出さずかんたんにガラス外側の清掃が可能です。また、コンシールストッパーにより障子を80度開いた状態で保持することで、清掃時の作業性にも配慮しています。

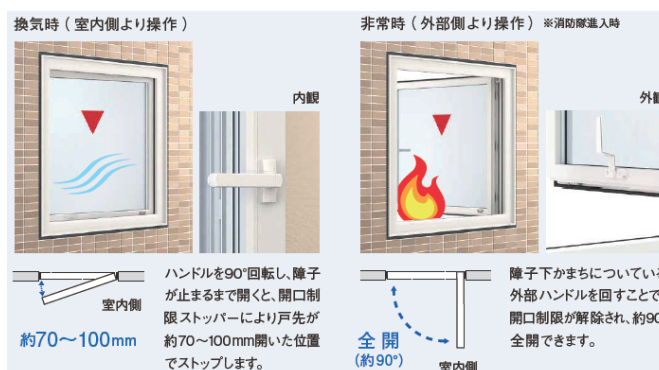


コンシールストッパー

③ 換気付非常用進入口を設定

内開き窓には、「換気付非常用進入口仕様」を設定。

法規上、非常用進入口が必要な開口部においても、室内からの部分換気が可能です。



【商品概要】

[JIS性能] 耐風圧性：S-6・S-7(※4)、気密性：A-4、水密性：W-5、
遮音性：T-2(※5)・T-3(※6)、断熱性：H-5(※7)・H-6(※8)

[枠バリエーション] つらいち枠(※9)

[窓種] 内開き窓【換気仕様】/【換気付非常用進入口仕様】、内倒し・内開き窓

[色] 外観樹脂色：ホワイト、プラチナステン、ブラウン、ブラック 全4色

内観樹脂色：ホワイト 全1色

[参考価格](※10)

内開き窓【換気仕様】、幅1,190mm×高さ1,172mm、Low-E複層ガラス6mm+A12+Low-E4mm

148,500円

[発売地域] 全国

[供給形態] ガラス入り完成品

[発売日] 2018年12月28日

[売上目標金額] 2019年度：4.4億円

※2：Low-E複層ガラス(中空層10mm、ガスなし)使用時 JIS A 2102 に準じた計算値

※3：内開き窓を全開にする場合、開口制限ストッパーを解除する必要があります。また、内倒し・内開き窓を内開きにする場合、脱着ハンドルまたは、キー付ハンドルが必要になります。

※4：内倒し・内開き窓のみ耐風圧性能S-7を設定

※5：Low-E複層ガラス6+A10+6、6+A11+5、6+A12+4を使用した場合

※6：Low-E複層ガラス10+A6+6を使用した場合

※7：中空層6mmのLow-E複層ガラスを使用した場合

※8：中空層10mm以上のLow-E複層ガラスまたは、中空層6mm以上のアルゴンガス入Low-E複層ガラスを使用した場合

※9：PC納まり・ECP納まりに対応

※10：価格は、ガラスを含んだ標準販売価格で、消費税・組立施工費は含みません。

参考情報

ホテル客室向けスチールドア「HOTEL DOOR」 (2018年8月発売済) について

段差無く安全な出入りを実現するフラット下枠でありながら、可動式のボトムエアタイトを採用したことで、扉下部の隙間からの音漏れ・光漏れを防ぎ、快適な客室環境を実現します。



左:ボトムエアタイトの構造

左下:遮音のイメージ
(廊下→客室を遮音し静かな室内を実現、
客室→廊下を遮音しプライバシーを確保)

右下:光漏れのイメージ
(左の従来のドアと、右の HOTEL DOOR)

